



結球白菜の品種とその選び方

結球白菜は大別して、山東系・芝罘系・包頭連系の三系統あるが、現在販売されている品種はこれら系統間の交雑によつて生まれたものが多い。

山東群 代表的品種としては愛知白菜。

野崎白菜がある。他系と比較して結球がゆるく、そのため遠地向輸送に適しないが、生育早く短期間に採收でき、都市近郊の前後作により入れた栽培に有利である。又低温感応が鈍いので春蒔用として優れた品種

包頭連群 これには白邦、青邦の二系統がある。白邦系は白菜中最も品質の優れた高級種で、外葉淡緑の白色となり白色包頭連白菜の名称がある。一般に病害に弱く、耐病性の多収品種もあるが、晚生であるため栽培に技術を要する。青邦系は京都三号の名で市販されている金沢白菜(加賀白菜)

がある。この系統で葉の抱合しない半結球性の品種を特に山東菜と呼び、結球性のものと区別されている。最近発売される品種には羽衣山東菜をはじめ大型多収のものが多い。

芝罘(チーフー)群 最も広く栽培され、早中生は北海道、東北地方及び府県暖地の高冷地に、又中晚生は東北南部、北陸以南に適しており、松嶋新二号

のように暖地の低温期栽培用として晚播に賞用される品種がある。本系統には種々の品種があり、その主なるものに早生種としては松嶋純二号、新二号があ

り中生種には松嶋大型二号及び単に芝罘又

がある。

この系統で、芝罘と包頭連の中間型であつて両系の特長を持つ晚生種である。性強健で

幼苗期の耐暑性もあり、病害に耐え作り易

く、大型で結球の緊りがよく収量も多い。

栽培適地は関東以西であるが、本種より選

抜育成した早生種は北海道南部、東北地方

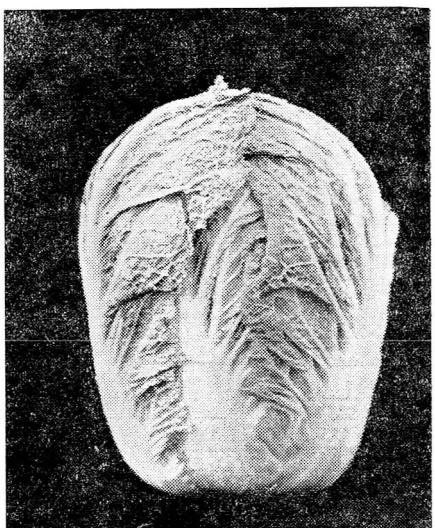
でもやや早蒔すれば好成績を挙げられる。

結球白菜の特性一覧表 (弊社取扱品種)

品種名	熟期	葉色	球形	大小	適なる適地と特長
松嶋純二号	早生	緑	円頭型	中	北海道。東北及び暖地高冷地の早期出荷として輸送好適。
同 大型二号	中生	淡緑	同	稍大	純二号の普及地帯、殊に市場出しに適する。
同 新二号	中早生	緑	同	大	多収栽培用、暖地の晚蒔、越冬用、耐病性。
完全結球	同	濃緑	円頭型	稍大	北海道中央部以南、東北地方の平坦地、普通栽培用。
早生京都三号	中晚生	淡緑	同	大	北陸。関東以北の普通栽培はやや早蒔を要す。
金沢結球	晚生	緑	同	大	関東以西を適地とするも東北以北では早蒔とする。
F-I 松嶋一号	同	濃緑	砲弾型	同	新二号と同じく採れ更に収量が多い。
五号	中	中	同	大	新二号よりやや遅れるも大型となり貯蔵向。
同 二号	中	中早生	大	大	寒地の早出し、暖地の晚播栽培向。
同 千歳	中	中	大	大	
同 松嶋一号	同	同	同	同	
同 大	同	同	同	同	
同 極大	同	同	同	同	



松島結球白菜新二号種



松島結球白菜純二号種